



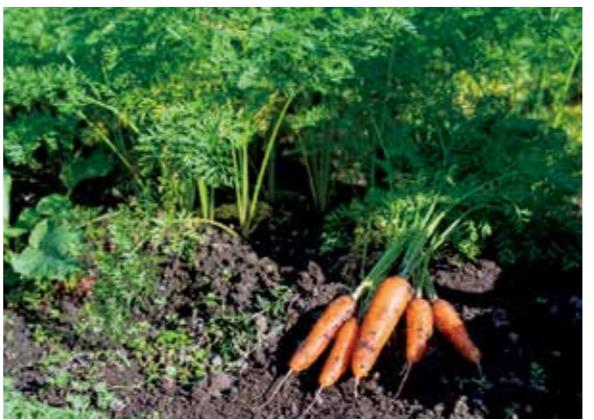
始良店の料理長を務める弟(三男)の作太郎さん。農家の思いを伝えたいと、毎日キッチンで腕を振るう



湧水町に移り住み、農園の管理を行う弟(次男)の秀国さん。「そのやま農園生産部長」としてYoutubeで情報発信中



始良店では、野菜の販売だけでなく有機食材で製造された加工品なども幅広く取り扱い、多くの人にぎわっている



栗野岳中腹にある湧水農場では、ニンジンの収穫シーズンを迎える。採れたてのニンジンは葉の部分までおいしい



美味しい野菜で暮らしを健康で豊かに。
有機野菜を柱に、夢広がるこれからの農業

農園食堂 森のかぞく 名山レトロフト店

農園にある食堂をイメージしたオープンキッチンの店内。有機野菜たっぷりのランチが人気です。併設された「森かぞくストア」では、有機野菜や加工品、お弁当などを販売。



鹿児島市名山町2-1レトロフト千歳ビル1F
TEL 099-227-2708

農園レストラン 森のかぞく 始良店
姶良市東餅田399-11 TEL 0995-55-1694



お知らせ

＼有機農業をもっと知ろう!／

有機農業セミナー開催!

「有機農業についてもっと知りたい!」という消費者の方などを対象にセミナーを開催します。

■日 時 2月16日(火)午後2時~午後4時

■場 所 県青少年会館 大ホール
(鹿児島市鴨池新町1-8)

■問い合わせ先
県庁経営技術課 ☎099-286-2891

※新型コロナウイルス感染症の影響により、延期・中止となる場合があります。最新の開催状況についてはお問い合わせください。

「有機農業の野菜を使った加工品やレストランの分野を伸ばして、事業拡大していくのが私の使命」と語る宗光さん。そして現在、湧水町の農場を任されている弟(次男)の秀国さんは「有機農業でしっかり稼いで、周囲の農家にやり方を示していくことが目標」と語ります。また2019年にオープンした農園食堂「森のかぞく」2号店の始良店では、弟(三男)の作太郎さんが「シンプルにおいしい有機野菜を、もっと消費者に届けていきたい」と話し、需要の伸びているテイクアウト用のお弁当などにも力を入れています。鹿児島市役所前の名山レトロフト店では妹のり

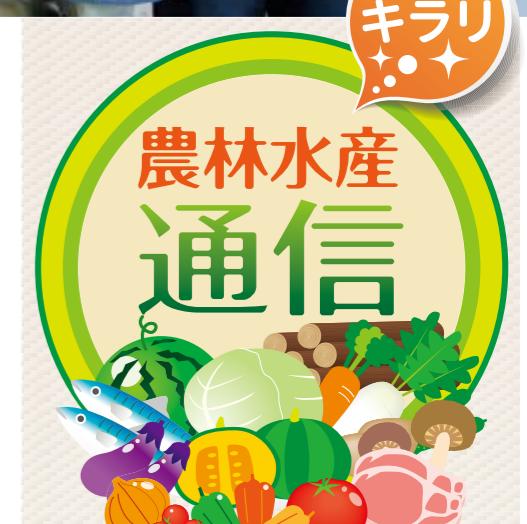
有機野菜と市民の食卓の 架け橋として

鹿児島市五ヶ別府町に50アールと湧水町に6ヘクタールの農園を構えて有機野菜の生産を行っている「そのやま農園」。冬はニンジンやホウレン草、夏はキュウリ、エダマメを中心に多品目生産に取り組んでいます。また、2013年には、農園で採れた有機野菜を使ったランチを楽しめるレストラン「農園食堂 森のかぞく」を鹿児島市役所前にオープン。今、注目を集めている農業の6次産業化と有機農業にいち早く取組んでいた同園は、2014年に法人化。代表取締役に就任したのが、農園を始めた園山国光さんの長男・宗光さんです。

1978年から有機農業に取り組んで

有機農業を受け継ぐ 父が信じた

いる「そのやま農園」。今までこそ有機栽培やオーガニックという言葉が知られるようになりましたが、その当時は栽培のためのメニューも少なく、農薬や化学肥料を使わない農業は病害虫の発生するリスクが高いため、決して容易なものではありませんでした。しかし、有機農業の持つ可能性に着目した国光さんは、病害虫に負けない作物を生み出すためには、土作りが何よりも大事だと考え、落ち葉や刈草を原料にした堆肥づくりに力を注ぎました。



農林水産 通信

有機農業

取材協力

農業生産法人
そのやま農園
株式会社

園山 宗光さん

鹿児島市生まれ38歳。父の姿を見て有機農業の道へ進む。現在は、鹿児島県有機農業協会の常務理事も務めている。

